

ウキゴケ科

# ウキウキゴケ (ウキゴケ、カツノゴケ)

*Riccia fluitans* L.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… -

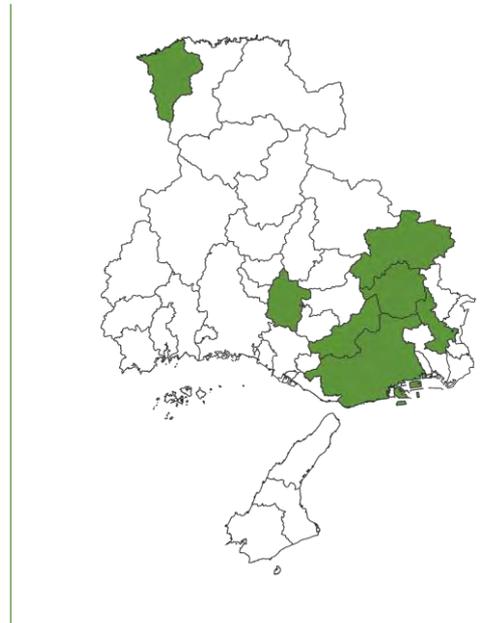
## ■ 県内分布

神戸市、宝塚市、三田市、三木市、加西市、新温泉町、丹波篠山市

## ■ 国内分布

## ■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	○ 分布の限界
		希少
		○



## ■ 特記事項

以前のウキゴケ（広義）は本種とそれ以外の少なくとも3種（ミゾウキゴケ *Riccia canaliculata* Hoffm.、ホソバウキゴケ、*R. stenophylla* Spruce、オオウキゴケ *R. rhenana* Lorb. ex Müll. Frib.）から成り立つが、そのうち湧水に浮遊して生育するウキウキゴケは生育地の現象により激減している。一方、田んぼの湿土上にでるミゾウキゴケ *R. canaliculata* Hoffm. は除草剤使用が無ければ各地で見られる。2020年版での新規掲載種。

## ■ 保護上の留意点

-

## ■ 種の概要

葉状体は淡緑色、長さ数センチに達する。幅は0.5-2mmほどで細長く伸びる。規則的に二叉状に分枝し、鹿の角状になる（和名別名の由来）。気室は2-3層。湧水のある池や水田等。水路の側壁に付着して旺盛に繁茂する場合もある。ときにため池に見つかるがウキウキゴケか近縁種であるかの見分けは難しい。湿った地面に直接生えることはない。